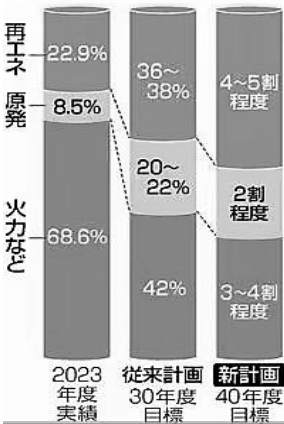




エネルギー基本計画が示した電源構成



原発と火力に依存する計画は再エネ目標を2040年でも50%程度と低く抑えているため、既に再エネ100%をめざす世界との落差は広がるばかりです。

2040年に運転から40年以内という原発は5基だけ、40年越えの老朽原発が22基、そのうち60年越えが4基という恐ろしい「老朽原発稼働計画」です。

現時点で廃炉していない原発は33基、このうち浜岡5号炉を含む8基は再稼働に向けた審査さえしていません。原発で20%の電気という計画自体が非現実的です。

昨年末の第7次エネルギー基本計画は、「原発を最大限活用させる」ことをうたい、事故処理さえできないでいる福島事故も忘れた原発推進計画になっています。

国の原発回帰政策は無責任政治の象徴です

原発事故から14年 福島事故は終わっていない

事故後の浪



2014年9月浪江町請戸漁港付近

江を見た衝撃は忘れません。私たちは忘れてはいけない、なかったことにしてはいけないと思います。また地震の順番が東日本が先だったのです。

次は私たちの番かもしれない。未来とふるさとを失わないためにフクシマからも学びましょう。知見に基づいて自ら選択をする力をお金に物言わせた原子力村の安全神話には乗りたくない。

市民団体が浜岡原発の危険性を指摘したチラシを新聞折り込みしようとしたら、ある新聞販売店から拒否されました。本当にびくびくの対応でしたが、これが原発近隣自治体の実態です。

原発再稼働反対をいうことが人心を惑わすと拒否される。この行き着く先がどこなのか。私は民主主義を封殺した先に原発再稼働が待っていて、その先に次のフクシマがあるような気がしています。

核兵器禁止条約 締約国会議が始まりました

国はまたしてもこの会議へのオプザーバー参加をしませんでした。被爆者の声も核兵器廃絶の国民の声も無視。被団協はじめ、日本からも多くの参加が。日本共産党も代表を送りました。

掛川市議会総務委員会は市民団体が出した核兵器禁止条約への参加を求める請願を不採択にしました。請願を出している団体が云々の発言が自民党議員からあり、市民を色眼鏡で見て請願を門前払いするということをしています。

私はオンラインに参加でしたが、焼津であった3.11ビギンデーの集会は昨年秋の被団協のノーベル平和賞の受賞もあり例年以上の参加者でした。

その中で核実験の被害者が政治的決着で切り捨てられてきたことも報告されました。核兵器開発が奪った命もあったのです。

核抑止論は、核兵器の開発や実験なども認めてしまう核兵器は必要だという理論です。新たなヒバクシャをつくらないために声を上げましょう。



要求アンケート2025

あなたの声を届けます

全国アンケート実施中♪



アンケート回答はこちらから

日本共産党は今、一人ひとりの暮らしの不安やお困りごと解消のために、全国でアンケートを実施しています。みなさんから寄せられた声を受け止め、実現めざしてがんばります。あなたの願いをぜひお寄せください。



国際女性Month—3/8は国際婦人デー50周年。議場はシンボルフラワーミモザ色が溢れています。